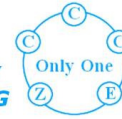
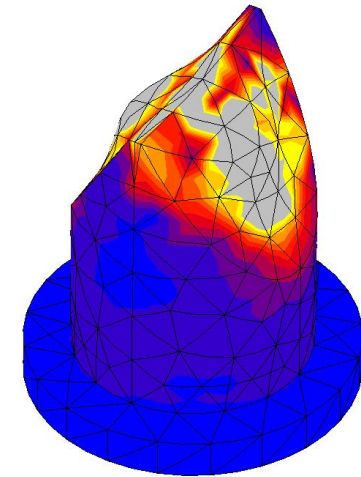
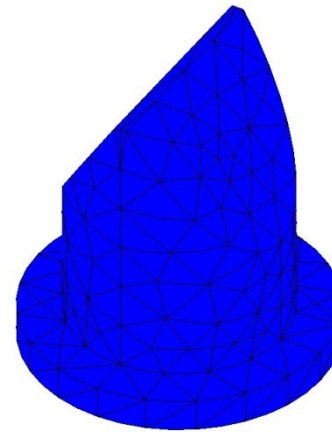


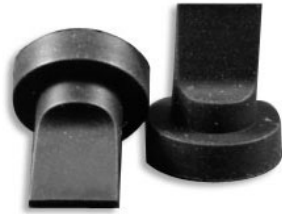


HIKOTOKU
POLYMER
TECHNOLOGY
ENGINEERING



ダックビルバルブ

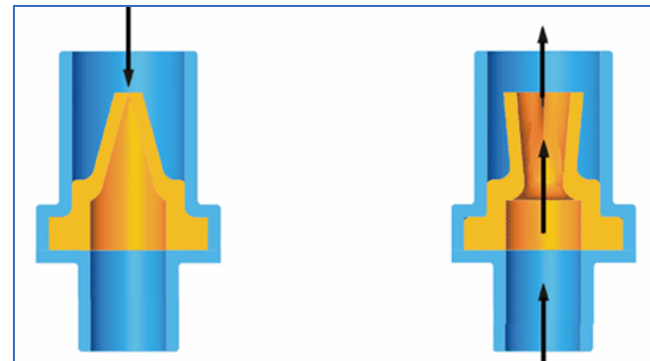
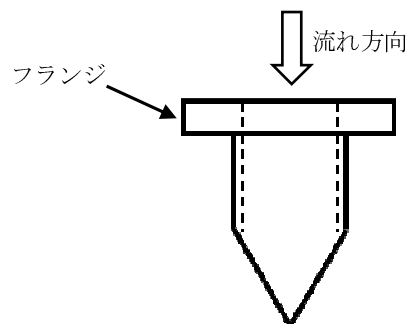




ダックビルバルブは、構成される一方向に流れを抑制するバルブで、自動車、医療、シャワーをはじめとする水廻りなど、さまざまな場面で使用されています。

設計方法

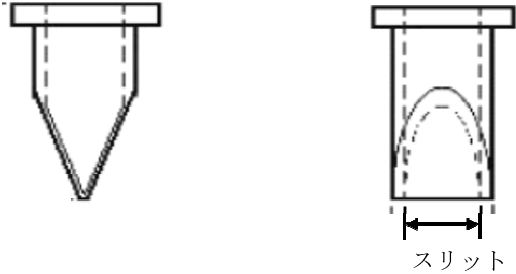
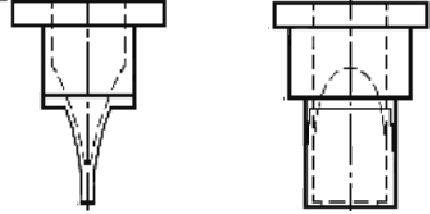
フランジ部分を二つのパーツで挟み、圧縮して使用します。



特徴

ダックビルバルブは、流路を確保するため、その先端にスリットが入っています。

直線的な流れが望ましい箇所に用いられ、**ノーマリーオープンタイプ**と**ノーマリークローズタイプ**があります。

ノーマリーオープンタイプ	ノーマリークローズタイプ
	
<p>通常タイプのダックビルバルブです。</p>	<p>バルブをハウジングに装着することでスリットを閉じさせる作用が働きます。これにより、低い逆圧時の逆止能力が向上します。</p>

開弁圧、及び流量との関係

開弁圧、及び流量はバルブ選定の上で重要となってきます。
ダックビルバルブは、一般にサイズを大きくする程、開弁圧が低く流量が多くなります。
サイズその他、スリット長、材質、及び材質硬度などによっても、
ダックビルバルブの開弁圧及び流量は調節が可能です。

ご参考までに、開弁圧、及び圧力100hPaでの流量のデータを示します。

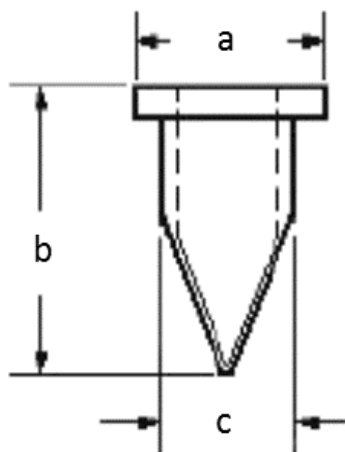
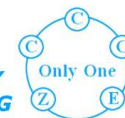


表. ダックビルバルブにおけるデータ(参考)、流体: 空気

	サイズ(mm)			材質	硬度	スリット長 (mm)	開弁圧 (hPa)	100hPa流量 (L/min)
	a	b	c					
例1	10.8	16.5	7.6	FVMQ	60	4.50	2	36.0
				VMQ	46	4.83	0	40.0
例2	12.7	21.0	10.1	FVMQ	60	7.30	3	50.0
				VMQ	46	7.30	1	55.0
例3	5.1	10.0	4.1	EPDM	52	2.36	13	1.3
				FVMQ	60	2.29	6	1.0
				VMQ	46	2.29	8	1.0



HIKOTOKU
POLYMER
TECHNOLOGY
ENGINEERING



以上の知見と弊社のノウハウを生かし、
GWはお客様のご要望に合ったダックビルバルブの
設計から試作品、量産品までご提供致します。
お気軽にお問い合わせください。

【販売会社】

商号 : 株式会社 GWE (旧 ゲット・バーレ・エンジニアリング)
所在地 : 大阪府堺市南区小代 138-1

【生産会社】

日本:株式会社ゲット・バーレ・カンパニー

住所:大阪府堺市西区山田3-842-6

中国:彦徳(上海)高分子技術有限公司

住所:中国上海市閔行区浦江鎮江西村142-2-5

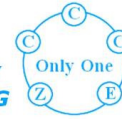
タイ:KGI TECHNOLOGY LIMITED

住所:20 Innovation building, Soi Ramkhamhaeng 30(Ban Rao), Huamark, Bangkapi, Bangkok, 10240

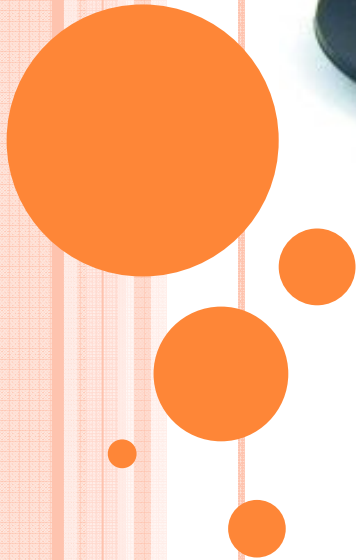
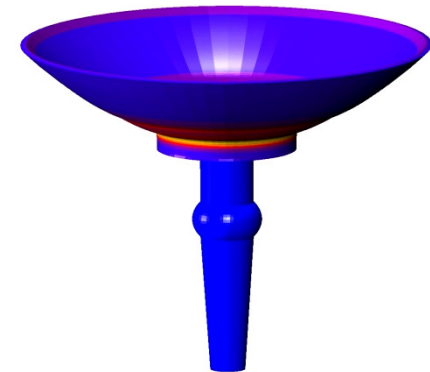
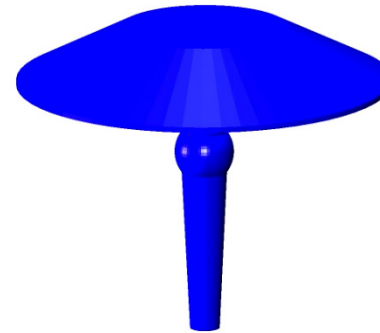




HIKOTOKU
POLYMER
TECHNOLOGY
ENGINEERING



アンブレラバルブ

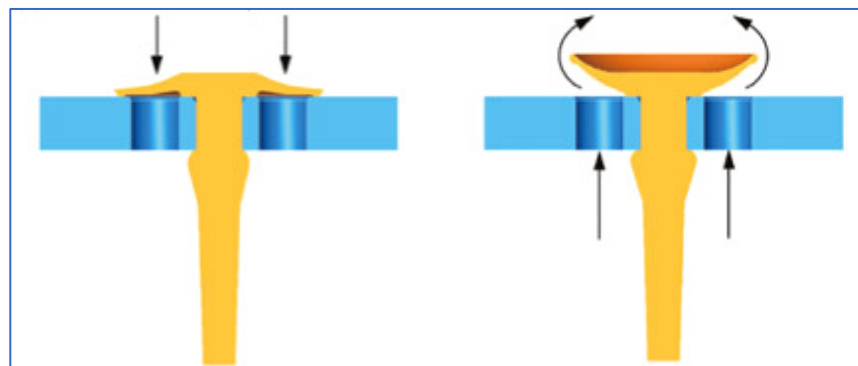
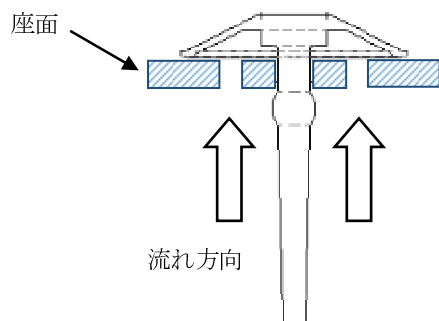




アンブレラバルブは、平らな座面と組み合わせて使用される、一方向のみの流れを可能とするチェックバルブです。自動車、医療、灌漑向けをはじめとする水廻り等、さまざまな場面で使用されています。

設計方法

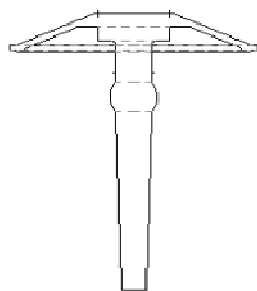
平らな座面に穴を開け、バルブ装着部分と流路を確保して使用します。



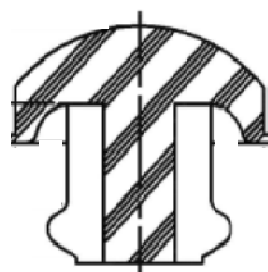
特徴

アンブレラバルブは、傘部分でシールすることで逆止性能を発揮します。概ね、ダックビルバルブよりも多い流量能力を有するのが特徴です。

また、傘部分が斜面状になっている形状の他に、ドーム状になっている形状のものもあり(下図)、このタイプは斜面状のタイプと比較して高開弁圧かつ高耐圧能力を有します。



斜面状タイプ



ドーム状タイプ



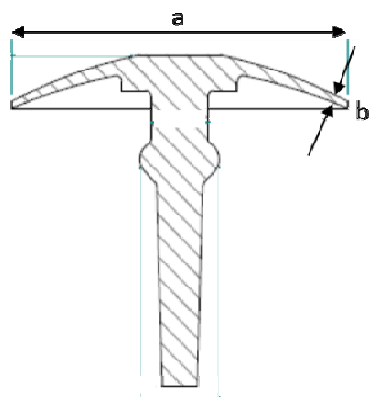
開弁圧、及び流量との関係

アンブレラバルブは、一般に傘径を大きくする程、開弁圧が低く流量が多くなります。

傘径の他、材質、材質硬度、傘部分の肉厚などによっても、アンブレラバルブの開弁圧及び流量は調節が可能です。

ご参考までに、開弁圧、及び圧力100hPaでの流量のデータを示します。

表. アンブレラバルブにおけるデータ(参考)、流体: 空気



	傘形状	傘径 a(mm)	傘肉厚 b(mm)	材質	硬度	開弁圧 hPa	リシール圧 hPa	100hPa流量 L/min
例1	ドーム状	6.22	1.270	VMQ	46	321	223	0.00
				NBR	71	823	584	0.00
例2	斜面状	6.88	0.475	FVMQ	60	29	13	39.0
例3	斜面状	10.16	0.225	FVMQ	60	5	3	95.0
				FKM	58	7	6	74.0
例4	ドーム状	11.91	1.190	EPDM	57	119	91	0.05
				NBR	70	139	63	1.0



HIKOTOKU
POLYMER
TECHNOLOGY
ENGINEERING



以上の知見と弊社のノウハウを生かし、
GWはお客様のご要望に合ったアンブレラバルブの
設計から試作品、量産品までご提供致します。
お気軽にお問い合わせください。

【販売会社】

商号 : 株式会社 GWE (旧 ゲット・バーレ・エンジニアリング)
所在地 : 大阪府堺市南区小代 138-1

【生産会社】

日本:株式会社ゲット・バーレ・カンパニー

住所:大阪府堺市西区山田3-842-6

中国:彦徳(上海)高分子技術有限公司

住所:中国上海市閔行区浦江鎮江西村142-2-5

タイ:KGI TECHNOLOGY LIMITED

住所:20 Innovation building, Soi Ramkhamhaeng 30(Ban Rao), Huamark, Bangkapi, Bangkok, 10240

